

《担当者名》薄井 明 usui@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

「社会学」などで学習した知識を再活性化すると同時に、必ずしも十分でなかった分野の知識を補充して、実践的な思考力を高める。

【学修目標】

社会福祉士・精神保健福祉士・高校教員（公民）の職能を発揮するために必要な、「現代家族」および「現代社会」に関する知識を身につけ、あわせて問題解決につながる実践的な思考力を養成する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	現代社会と社会システム	日本の産業と職業、階級と階層、職業と階層移動、中流意識と社会的不平等、社会システム	薄井
2	経済・法と社会システム	交換の概念、労働の概念、労働市場、完全失業者と完全失業者率、非正規就業者、法と社会規範	薄井
3	社会変動と現代社会	近代化、ゲマインシャフト/ゲゼルシャフト、機械的連帯/有機的連帯、大衆社会、産業社会とポスト産業社会、情報社会、「文化遅滞」論、アノミー	薄井
4	人口動態	人口高齢化の指標、人口構成図の変化、少子化と合計特殊出生率、日本の総人口	薄井
5	地域社会	都市化、都市化に伴う諸現象、シカゴ学派、「同心円地帯」理論、アーバニズム、日本の都市・農村社会学、戦後の農業政策、過疎、町内会	薄井
6	社会集団と組織	コミュニティ/アソシエーション、準拠集団と相対的剥奪、第一次集団、フォーマル組織/インフォーマル・グループ	薄井
7	家族と世帯	家族/世帯、高齢者世帯、夫婦家族/直系家族、平均世帯人員と世帯数、構造別世帯数の構成割合	薄井
8	家族の変化と生活の捉え方（1）	婚姻率の推移、晩婚化・非婚化の進行、離婚率の推移、同居期間別の離婚、手続き等からみた離婚	薄井
9	家族の変化と生活の捉え方（2）	家族のライフサイクル、ライフコース、家族機能の外部化・縮小化、家事分担、生活時間	薄井
10	社会関係と社会的孤立	ウェーバーの社会的行為の4類型、社会関係、社会的孤立、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）	薄井
11	社会的役割	地位と役割、役割期待、役割取得、役割葛藤、役割距離	薄井
12	社会問題の捉え方（1）	社会問題の捉え方、差別における属性主義と業績主義、アマーマティブ・アクション	薄井
13	社会問題の捉え方（2）	ラベリング理論、アノミーと逸脱行動、犯罪社会学理論（分化的接触理論・ボンド理論など）	薄井
14	具体的な社会問題とその対策（1）	スティグマ、エイジズム、セクシズム、ジェンダー・トラック、世界女性会議、男女雇用機会均等法	薄井
15	具体的な社会問題とその対策（2）	ジェンダー・エンパワーメント指数、ドメスティック・バイオレンス、いじめ、日本の自殺、環境問題	薄井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題と小テスト（100%）

【教科書】

薄井明, 『必修事項と範例問題』, (株)みらい

【参考書】

適宜紹介する。

【学修の準備】

テキストに沿って授業を進めていくので、指示された次回の講義箇所を事前に読んでおき、演習問題を自分で解いてみて、自分の理解の弱点を把握しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3,5